



ツール・ド・北海道

## シクリスムエコーNo.123 2005年10月号



2005年ロード世界選手権大会..... 2



2005 ツール・ド・北海道国際大会..... 4



日本スポーツマスターズ2005 自転車競技会..... 6

2005年 MTB 世界選手権大会..... 8



第52回全日本プロフェッショナル選手権ロードレース 9

第36回全日本実業団自転車競技選手権大会..... 10

2005年第1回アジアインドアゲーム日本代表選手団..... 11

2005年世界室内自転車競技選手権日本代表選手団..... 11

第9回全日本実業団クリテリウム in いわき..... 12

UCI 環太平洋 BMX 選手権..... 13

第31回ジロ・デルニジアナ..... 14

競技大会結果..... 15

シクロクロス 2005-2006 レースカレンダー..... 16

インフォメーション コーナー / 連盟の動き..... 16



## 2005年ロード世界選手権大会

今年の世界選手権はUCIの改革にもない、男子エリート参加枠がプロツアー、大陸枠の国別ランキングによって参加人数が確定することになり、アジア大陸1位で6枠、2位または3位で3枠と昨年より大幅に大陸枠が拡大された。

UCIのポイントを獲得するためにコンチネンタルチーム協力の下、ロード競技ナショナルチームを編成。より多くの大会に参加して、8月15日付のUCIランキングで日本は3名の参加枠を獲得した。

参加人数が拡大され、参加するだけでなく勝負できる選手の選考が問われる事となったJCFは、ロード部会を設置。選手の実績とヨーロッパでの選考対象レースを選考基準とし、世界選手権大会に合わせ選手を選考した。

今年ロード競技世界選手権はジュニアカテゴリーが外れ、男子エリート、女子エリート、U-23の3カテゴリーが行われた。

9月19日に現地入り、朝晩は10前後、昼は29前後と寒暖の差が激しく、大会開催期間中は一度も雨が降らない乾燥した気候の中、9月21日～22日に個人タイムトライアル、24～25日に個人ロードレースが行われた。

### 個人タイムトライアル

日本は4年ぶりの参加となった男子エリート個人タイムトライアル。今年からプロツアーで活動している別府史之が出場し、ネオプロとして初の世界選手権タイムトライアルに挑戦した。

ジュニアの世界選手権参加から、常



個人TT出場の別府史之

に自己のレベルを向上させ、ついにトッププロのチームに所属した別府であるが、今回は実力差が明白にできる厳しい個人タイムトライアルに挑戦。22kmの周回コースを2周、晴天の中48名が出走、2分間隔で2番目のスタート。

1周目は33位で通過。2周目に入り若干ペースが落ちるものの、大きく崩れることもなく56分47秒37でゴール、29位に終わった。

48人中29位の結果は、ネオプロ初の挑戦で大きな経験と自信となり、プロツアーでの今後の活動に目標のもてる結果であった。

### 女子エリート

1周21kmの周回コースを6周、131人がスタート。1.5km～2km(5～7%)の登り坂が2箇所あり、上りか下りで平坦の

無いコースは、ハイペースなレース展開となり、スピードの無い選手にとっては厳しいレース展開となった。

序盤ペースは上がるものの、集団は崩れないままレースが展開される中、4周目7km地点の上



り坂に入った所で、唐見が落車に巻き込まれ転倒。すぐに起き上がって走り出すが、集団のペースが速く集団に復帰できずに終る。

終始、集団をコントロールしたドイツチームと逃げを試みる他のチームとの攻防戦が続く中、ラスト周回に入り、勝負どころとなった上り坂でアタックが繰り返され、集団が大きく分かれてしまう。後方に位置していた沖はそのままメイン集団から遅れてしまう。

33人のメイン集団はゴールスプリントとなり、徹底したアシスト体制でレースをコントロールしたドイツのSchleicherが優勝。

メイン集団から遅れた沖は60位でゴール。4周目、落車で遅れた唐見は辛



女子の沖

うじて完走106位に終わった。

世界レベルに一番近い女子カテゴリーで、まったくレース展開に参加出来ないまま終わってしまったことは、今後大きな課題を残した。

#### U-23

新城と田中の2名が出場。ヨーロッパのクラブチームに所属して活動している二人は、レース経験も豊富で初参加の世界選に気負いもなくスタートした。

序盤からハイペースのレース展開となるが、決定的な逃げは決まらず、数人のトップ集団が目まぐるしく入れ替わるレース展開となり、終盤ハイペースとなったところで、田中が後続集団に取り残される。

ラスト周回、ウクライナの選手が集団から抜け出し30秒差を付け独走態勢に入る。メイン集団から数名の選手が抜け出し追走。ラスト2kmで追走していた集団から2名の選手が抜け出す、逃げていたウクライナのGrabovskyyが26秒差で逃げ切りの優勝。メイン集団でゴールした新城は40位、後続集団に取り残された田中は69位でゴール。

プロ予備軍と位置づけられているカテゴリーの厳しさは、如何にヨーロッパでのレース経験が重要か改めて確信させられた。

#### 男子エリート

イタリアで行われたJCF選考対象レースで選考された福島晋一、福島康司、飯島誠の3名は、世界選手権前にベルギーで調整レースを消化して現地入

り。万全な体制で大会当日を迎えた。

273km、12周回と長丁場のレースは、朝10時爽やかな天候の中、188名の選手がスタートを切った。

1周目からブラジルの選手がアタック。2分差としたところでメイン集団から3名の選手が抜け出し、4周目に逃げていたブラジルの選手を吸収、メイン集団に11分の差をつけて逃げる。

11分差となったメイン集団は、イタリア、スペインなど主力チームが集団のペースを上げる。上り坂は一例棒状となり、まるで下っているかのように見える。日本選手の3選手は真ん中から後方に位置し快走。

徐々にトップ集団4名とのタイム差が詰まる中、6周目に一人脱落し3名となり、逃げが苦しい展開になる。

ラスト5周目に入り、逃げている選手2名とメイン集団のタイム差は5分。ラスト4周目3分差となったところで、福島康司が集団から遅れる。

ラスト3周、逃げている選手が吸収される直前の速いレース展開に、メイン集団で頑張っていた飯島が残念ながら遅れてしまう。

逃げていた選手が吸収されてからは、常にアタックが繰り返され、トップグループがめまぐるしく入れ変わる中、ラスト2周目に入り残すところ1周半、下り坂で一例棒状となった集団が分かれてしまう。後方に位置していた福島晋一が惜しくも後続集団に取り残されてしまった。

ラスト周回、10名のトップ集団と

なった所から、カザフスタンのピノクロフが単独アタック。ラスト2kmで吸収され5名のトップ集団となるが、メイン集団とのタイム差は15秒。20名前後のメイン集団が勢いよく押し寄せてきている。

ラスト200m、完全に5名の選手は集団に吸収され、大集団はそのままゴール勝負となり、混戦のゴールスプリントを制したのはベルギーのBOONEN Tomで、1車身抜け出し堂々の優勝。

ラスト1周半までメイン集団で健闘した福島晋一は125位でゴール。飯島誠135位、福島康司は残念ながらリタイアに終わった。

UCIの改革に伴う、男子エリートのJCFの新たな取り組みの成果は、2名の完走で結果が出た。日本ロード競技界の競技力向上と強化対策の方向性を見据える上でも重要な結果であり、ヨーロッパで走る環境が必要不可欠であることを、理解して頂けたのではないだろうか。

国内コンチネンタルチームの協力の下で推進してきた、ロード競技ナショナルチームの活動に対する連盟の支援・協力の、感謝を申し上げます。

(監督 高橋 松吉)

#### [ 競技結果 ]

2005年ロード世界選手権大会

(2005/9/21-25 ス・イ・マ・ドリト)

男子エリート個人タイムトライアル (44.1km)

1	ROGERS Michael	AUS	53:34.49
2	GUTIERREZ PALACIOS José Ivan	ESP	53:58.26
3	CANCELLARA Fabian	SUI	53:58.38
29	別府 史之	JPN	56:47.37

女子エリート個人ロードレース (126km)

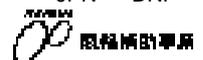
1	SCHLEICHER Regina	GER	3:08:52
2	COOKE Nicole	GBR	3:08:52
3	WOOD Oenone	AUS	3:08:52
60	沖 美穂	JPN	3:11:18
106	唐見実世子	JPN	3:28:32

男子U23個人ロードレース (168km)

1	GRABOVSKYY Dmytro	UKR	3:56:23
2	WALKER William	AUS	3:56:49
3	POPOV Evgeny	RUS	3:56:49
40	新城 幸也	JPN	3:56:57
69	田中 聡	JPN	3:58:34

男子エリート個人ロードレース (273km)

1	BOONEN Tom	BEL	6:26:10
2	VALVERDE BELMONTE Alejandro	ESP	6:26:10
3	GESLIN Anthony	FRA	6:26:10
125	福島 晋一	JPN	6:39:06
135	飯島 誠	JPN	6:53:22
	福島 康司	JPN	DNF



男子エリートの飯島誠、福島晋一、福島康司 (左から)

## 2005 ツール・ド・北海道国際大会

今年で19回目を迎えるツール・ド・北海道国際大会は道東・道央地域を舞台に6日間、総走行距離790kmで争われた。イランナショナルチームの不参加により、国内外20チーム、計98人の選手が北海道の大地に挑んだ。

### プロローグ 9月14日

初日のプロローグは午後1時スタートで、98人のライダーは1分間隔で出走。天候は朝から雨が降り続き、気温の低い中行われた。コースは帯広市の十勝川河川敷の4.6kmだ。注目選手はプロローグ2連覇中の西谷(愛三工業)そして、西谷のチームメイトで日本大学時代の後輩でもある盛の2人。

55番目に優勝候補の盛が登場。なんとこれまでの記録を大幅に更新する5分52秒02でゴール。場内アナウンスにも一層熱が入る。TTに強い岡崎(NIPPO)は6分00秒95で僅差の暫定4位、続いて2003年に優勝している広瀬敏(愛三工業)が6分05秒11。

昨年個人総合時間5位のパクサンバク(韓国)は6分11秒46とタイムが伸びない。カナダの最終走者のマーク・ウォルターズが6分を切る5分58秒54でゴールし、さらに米山(ラパネロ)が6分00秒43を叩き出した。3連覇がかかった西谷は、スピードにのりきれず5分58秒64で3位に終わった。結局プロローグを制したのは盛、2位ウォルターズ、3位西谷という結果となった。実業団1年目の盛だが、貫録ある勝利だった。

### 第1ステージ 9月15日

天候は晴れ。帯広市から阿寒町までの179kmの第1ステージは、今大会最大の見どころであるゴール直前の阿寒湖畔スキー場までの上りがある。この上りのタイム差が個人総合優勝争いを大きく左右する重要なステージだ。97選手が9時に帯広中央公園をスタートした。

最初のホットスポット通過はマリウス・ヴィズィアック(NIPPO)、西谷、米山の順。白樺峠への上りで17人の先頭集団が形成。白樺峠の頂上に向けて新保(愛三工業)が単独で上る。続いて清水都貴(アンカー)、柿沼(ミヤタ)しかし、後続から追いついたエディー・ラッティがすべての選手を抜き去り、山頂をトップで通過する。2番手は別府匠。第2山岳ポイントの幌鹿峠もラッティ

がトップ通過し、山岳賞を確定させた。

下り終わって先頭集団は13人。メイン集団とのタイム差は3分ほど。2度目のホットスポットは1位岡崎、2位新保、3位ラッティの順。

残り30km。先頭集団から清水裕輔(アンカー)が単独アタック。これをきっかけに先頭集団が動きはじめた。メイン集団との差も徐々に縮まる。後続がせまってきたことで先頭集団がペースアップして清水裕輔を吸収。先頭集団から大内、西村(ミヤタ)そして清水裕輔が遅れる。

170km地点までの長い上りで、ラッティがアタックし、後続を引き離していく。ラッティは独走のままステージ優勝を果たした。2位に岡崎、3位に清水都貴が入った。

### 第2ステージ 9月16日

昨日のステージで力を発揮できなかった愛三工業の西谷とブリヂストンアンカーの田代がスタート直後から積極的に動く。最初の上りで2人が先行。さらに10人が合流して先頭12人。各チームとも早い段階から動きを見せる。先頭12人は山頂手前で吸収される。今日一回目の山岳ポイント争い。山頂前に盛が抜け出してトップで通過。ラッティと別府匠の争いはラッティに軍配があがった。

山頂からは太平洋に向けての長い下り。ここで大内(シマノ)、ヴィズィアック、佐野(アンカー)が集団から抜け出す。さらに三船(ミヤタ)そして学生の三瀧(鹿屋体育大)と大村(法政大)が第

2集団を形成して3人を追う。

1回目のホットスポット通過順位は1位ヴィズィアック、2位佐野、3位大内。その後、第2集団を形成していた三船が機材故障のためメイン集団に戻ってしまう。しかし、代わりにダニル・コムコフ(ロシア)が合流。さらに後続から日置(キナン)、キム(韓国)が追いつく。

5人になった第2集団はペースがあがり先頭3人を吸収し、先頭集団は8人になる。大村は遅れてしまうが、三瀧は学生チャンピオンの意地を見せ、先頭集団を積極的に引く。後方集団は6分以上の差をつけられたが、ペースをあげ、先頭集団を追い上げる。

2度目の山岳ポイントを前に先頭集団からキムが飛び出す。これにヴィズィアックが追いつき山岳ポイントを通過、先頭は2人に。残りは下りで集団に吸収される。タイム差30秒。

残り10kmで、ヴィズィアックが単独アタック。タイム差20秒で独走を開始。集団はタイム差を縮めるがヴィズィアックが3秒差で逃げ切ってステージ優勝を決めた。ヴィズィアックは昨年ツアー・オブ・ジャパンの大阪ステージでステージ優勝している選手だ。

### 第3ステージ 9月17日

ワインで有名な池田町の田園ホール前をスタート。出走は82人。ふるさと銀河線に沿って太平洋へ向けて南下し、先端に襟裳岬がある日高山脈を越える。海岸線へと出て、向かうゴールは静内町。走る距離は188kmだ。

スタートからアタックが繰り返され



第2ステージの勝者WIESIAK Mariusz(NIPPO)

る。集団はNIPPOがコントロール。橋川(キナン)の単独逃げをきっかけに林(北海道選抜)根本・立里(明治大)が合流して4人で逃げるが、向かい風がきつく集団に吸収された。

広瀬学(キナン)廣瀬佳正(シマノ)が集団から飛び出した。差が広がり、まもなくホットスポットのある大樹町コスモール大樹道の駅へ向かう。集団から多くの選手が抜けだしていく。各チームの動きが激しく、リーダーチームのNIPPOにとっては苦しい展開となった。

日高山脈を越える天馬街道に入る手前、36人の先頭集団から廣瀬佳正が飛び出し、田代、三浦(キナン)が合流。3人の逃げが決まる。山岳ポイント通過順位は、1位田代、2位三浦、3位大内。集団では山岳賞争いで別府匠が、ラッティよりも先着し、ポイント差をつめた。

下りで柿沼、大庭(日本大)中島(鹿屋体育大)が前の3人を追い合流。太平洋沿いの浦河町を走り、フィニッシュの静内町を目指す。中島が脱落して、先頭5人。集団は愛三工業、韓国、ラパネロが引き、残り5kmで先頭を吸収した。

フィニッシュは集団スプリントとなり、昨ステージ2位に入ったティロ・シュラー(ドイツ)がこれを制した。2位には山本雅道(シマノ)そして3位に学生の島田真琴(法政大)が入った。島田は今年2年生で、昨年はロード世界選手権ジュニアの日本代表として出場している。将来が期待されている有望な若手選手のひとりだ。学生が表彰台にのぼったのは第1回大会の北海道大学の松井久以来、2度目。

#### 第4ステージ 9月18日

第4ステージのスタートは9時。天気予報どおり冷たい雨が降っている。エフゲニー・ベルミノフ(ロシア)木下(北海道大)米山の3人がこの日最初のアタックを決めた。悪天候にもかかわらず集団からアタックが繰り返される。

ラッティを含む11人の逃げが決まった。さらにパクサンバクが追いつき12人の先頭集団を形成。最初のホットスポットを通過した時点で後続集団とのタイム差は1分50秒に広がっていた。最初のKOMは、1位別府匠、2位ラッティ、3位阿部、4位狩野で通過。

補給所をすぎたところで別府匠がアタック。ラッティ、パクサンバクの3人



個人総合優勝RATTI Eddy、第4ステージのゴール

が先行する。このスピードアップで木下が先頭集団から脱落。さらに橋川、日置も遅れて先頭は9人に。

最後のKOMに向けてペースが上がる。山頂通過時の先頭は、別府、ラッティ、清水都貴、パク、狩野、佐野の6人。2度目の山岳ポイントは1位別府、2位ラッティ、3位清水都貴、4位狩野。最後の山岳ポイントを別府が果敢に攻めたが、ラッティが2位で通過したことでラッティの山岳リーダーが決定した。

下りで別府と佐野が遅れて先頭は4人に。メイン集団とのタイム差は3分以上。メイン集団は愛三工業が引いている。ホットスポット後メイン集団先頭に上がったミヤタも追撃に加わり、タイム差が35秒まで詰まった。

残り10kmになったところで、リーダージャージのラッティがアタック。狩野、清水都貴、パクはあきらめ、メイン集団に吸収される。ラッティは単独でタイム差を広げ、なんと第1ステージに続き、逃げ切り優勝を果たした。さらに集団スプリントはマリウス・ヴィズィアックが制し、今年2度目のNIPPOのワンツーフイニッシュとなった。

#### 第5ステージ 9月19日

最終ステージは札幌市モエレ沼公園内の道路を使ったクリテリウム。天候は晴れ。スタート時は気温が高く、暑い一日になりそうだった。

この日はポイント争いが注目された。1回目のホットスポットはリーダーのヴィズィアックがトップで獲得。ヴィズィアックが自ら逃げにも乗り積極的な動きを見せた。やがて風が強くなる。ホームストレートが強い向かい風。リーダージャージのラッティは常に集団先

頭付近に位置して走っている。

2回目のホットスポットもヴィズィアックが獲得、さらに差を広げた。途中ヴィズィアックを含む5人の逃げが決まる。後方集団はNIPPOがコントロール。

3回目のホットスポット、トップ通過はタエボクユウ(韓国)。先頭集団にカナダの選手が追いつき、さらに柿沼が追いついて7人に。

いよいよ残り1周。ホームストレート両脇には観客がびっしり詰め掛けて人垣ができて、声援を送っている。その最後の1周に大落車が発生。30人近い選手が巻き込まれた。ただし、ゴール前の落車のため、集団全員に同タイムルールが適用された。

優勝はティロ・シュラー。今大会2度目のステージ優勝となった。個人総合時間賞1位のエディ・ラッティは落車にも巻き込まれず集団でゴールし、その座を守った。NIPPOはラッティの山岳賞に加えて、ヴィズィアックがポイント賞を獲得。さらに3年連続の団体総合時間優勝を果たした。U23賞は村上純平(鹿屋体育大)が獲得した。

(TOUR DE HOKKAIDO 2005 NEWS抜粋)

#### [競技結果]

2005ワールド・北海道国際大会(UCI 2-2)  
(2005/9/14-19 北海道)

##### 個人総合時間賞

1	RATTI Eddy	NIPPO	19:26:47
2	岡崎 和也	NIPPO	19:29:19
3	清水 都貴	BRIDGESTONE	19:29:29
4	狩野 智也	SHIMANO	19:29:44
5	新保 光起	AISAN	19:29:49
6	別府 匠	AISAN	19:30:28
7	真鍋 和幸	NIPPO	19:30:38
8	WIESIAK Mariusz	NIPPO	19:31:02
9	盛 一大	AISAN	19:31:30
10	WALTERS Mark	CANADA	19:31:36

##### 団体総合時間賞

1	チムNIPPO	58:26:59
2	愛三工業レーシングチーム	58:31:30
3	ブリヂストンアカ	58:33:28

##### 個人総合ポイント賞

1	WIESIAK Mariusz	NIPPO	101p
2	RATTI Eddy	NIPPO	71p
3	SCHUELER Tilo	GERMANY	70p

##### 個人総合山岳賞

1	RATTI Eddy	NIPPO	31p
2	別府 匠	AISAN	30p
3	新保 光起	AISAN	8p

##### ポイント賞(4.6km)

1	盛 一大	AISAN	5:52.02
2	WALTERS Mark	CANADA	5:58.54
3	西谷 泰治	AISAN	5:58.64
4	米山 一輝	RAVANELLO	6:00.43

5	RATTI Eddy	NIPPO	6:00.80
6	LANGE Cory	CANADA	6:00.89
7	岡崎 和也	NIPPO	6:00.95
8	WIESIAK Mariusz	NIPPO	6:03.23
9	SHERSTOBITOFF Jeff	CANADA	6:03.48
10	JANG Sun Jae	KOREA	6:03.82

## 第1ステージ (179km)

1	RATTI Eddy	NIPPO	4:32:39
2	岡崎 和也	NIPPO	4:34:02
3	清水 都貴	BRIDGESTONE	4:34:02
4	狩野 智也	SHIMANO	4:34:11
5	新保 光起	AISAN	4:34:16
6	別府 匠	AISAN	4:34:49
7	真鍋 和幸	NIPPO	4:34:51
8	鈴木 真理	BRIDGESTONE	4:36:12
9	盛 一大	AISAN	4:36:12
10	廣瀬 佳正	SHIMANO	4:36:15

## 第2ステージ (km)

1	WIESIAK Mariusz	NIPPO	4:24:24
2	SCHUELER Tilo	GERMANY	4:24:27
3	PARK Sung Baek	KOREA	4:24:27
4	YOU Tae Bok	KOREA	4:24:27
5	JANG Sun Jae	KOREA	4:24:27
6	清水 都貴	BRIDGESTONE	4:24:27
7	KERMER Kay	GERMANY	4:24:27
8	米山 一輝	RAVANELLO	4:24:27
9	山本 雅道	SHIMANO	4:24:27
10	三船 雅彦	Miyata	4:24:27

## 第3ステージ (188km)

1	SCHUELER Tilo	GERMANY	4:31:09
2	山本 雅道	SHIMANO	4:31:09
3	島田 真琴	HOUSEI UNI.	4:31:09
4	三船 雅彦	Miyata	4:31:09
5	WALTERS Mark	CANADA	4:31:09
6	LANGE Cory	CANADA	4:31:09
7	KERMER Kay	GERMANY	4:31:09
8	PERMINOV Evgeny	RUSSIA	4:31:09
9	清水 都貴	BRIDGESTONE	4:31:09
10	CHEN Keng Hsien	CHINESE TAIPEI	4:31:09

## 第4ステージ (km)

1	RATTI Eddy	NIPPO	4:29:43
2	WIESIAK Mariusz	NIPPO	4:30:35
3	JANG Sun Jae	KOREA	4:30:35
4	鈴木 真理	BRIDGESTONE	4:30:35
5	清水 裕輔	BRIDGESTONE	4:30:35
6	KOMKOV Danil	RUSSIA	4:30:35
7	WALTERS Mark	CANADA	4:30:35
8	綾部 勇成	Miyata	4:30:35
9	PERMINOV Evgeny	RUSSIA	4:30:35
10	米山 一輝	RAVANELLO	4:30:35

## 第5ステージ (km)

1	SCHUELER Tilo	GERMANY	1:23:15
2	WIESIAK Mariusz	NIPPO	1:23:15
3	PARK Sung Baek	KOREA	1:23:15
4	KOMKOV Danil	RUSSIA	1:23:15
5	CHEN Keng Hsien	CHINESE TAIPEI	1:23:15
6	綾部 勇成	Miyata	1:23:15
7	HUNG HSU Hwa Chien	CHINESE TAIPEI	1:23:15
8	辻 善光	RITSUMEIKAN	1:23:15
9	岡崎 和也	NIPPO	1:23:15
10	KIM Dong Young	KOREA	1:23:15



# 日本スポーツマスターズ2005 自転車競技会

今年で5回目となる日本スポーツマスターズ2005が富山県で開催された。自転車競技としては4回目となる今大会は9月24日・25日の2日間、富山競輪場(周長333m)において行われたが年々増え続けるエントリー数も今大会では136名まで増え、第1回の神奈川大会に比べると実に2倍以上となった。又、今大会では地元富山県からも20名のエントリーがあり大会を大いに盛り上げた。

大会は2日間とも風の強いあいにくの天候であったが6個の大会新記録が出るなど白熱したレース展開も多く年々競技力も向上してきたように思われる。特に今大会で目立ったのは年齢の高いクラスで大会新記録が多かったのは高い年齢層まで自転車競技が普及しつつあることであり自転車競技を楽

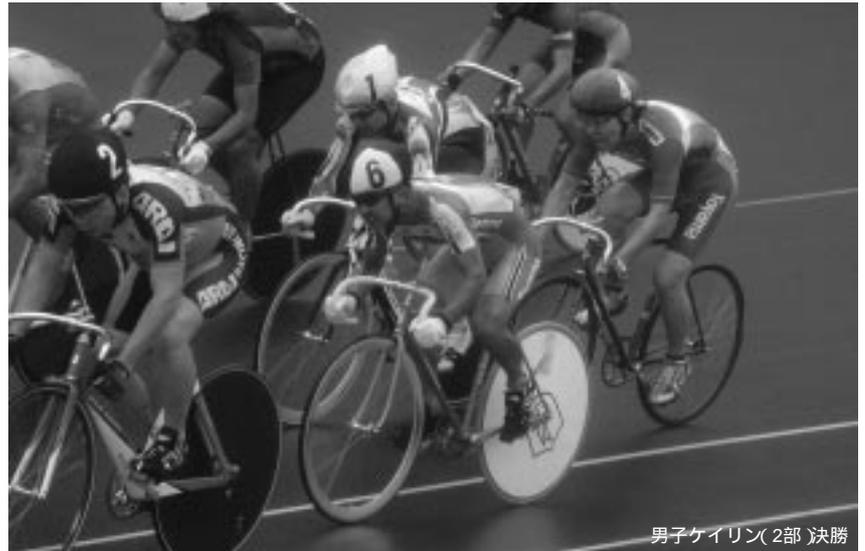
しむ者としては嬉しい限りである。

又、大会初日に開催された日本スポーツマスターズシンボルメンバーの中野浩一氏によるスポーツ教室は多くの参加者があり盛況であった。

来年以降も出場者が増え続け生涯スポーツとしての自転車競技がさらに盛んになることを期待したい。(浅倉 基)



男子3kmIT(3部)優勝の浅倉



男子ケイリン(2部)決勝



チームスプリント優勝の富山A

[ 競技結果 ]

日本自転車連盟 2005 自転車競技会  
( 2005/9/24-25 富山・富山競輪場 )

- 男子1kmタイムトライアル ( 1部 )
- 1 田神 明彦 千葉 1:14.902
  - 2 沼前 光宏 大阪 1:15.806
  - 3 齋藤 徹 福島 1:16.372
  - 4 宮 弘行 岩手 1:16.679
  - 5 播磨 徹 富山 1:20.150
  - 6 野村 武彦 岐阜 1:20.439

- 男子1kmタイムトライアル ( 2部 )
- 1 岡武 孝浩 岐阜 1:17.583
  - 2 小出 浩雅 三重 1:18.901
  - 3 和波 哲哉 愛知 1:18.914
  - 4 表 寿史 石川 1:19.624
  - 5 菅野 幸信 福島 1:19.737
  - 6 山下 永 和歌山 1:20.259

- 男子1kmタイムトライアル ( 3部 )
- 1 稲場 勉 愛知 1:14.914
  - 2 和田 修 岐阜 1:18.723
  - 3 泉野 俊一 富山 1:21.874
  - 4 藤岡 英景 兵庫 1:22.144
  - 5 伊神 和史 岐阜 1:22.669
  - 6 岡村 隆 東京 1:23.008

- 男子1kmタイムトライアル ( 4部 )
- 1 北村 英樹 滋賀 1:19.442
  - 2 若杉 平雄 愛知 1:20.112
  - 3 渡辺 正彦 埼玉 1:20.512
  - 4 小田 秀明 静岡 1:21.091
  - 5 佐久間明夫 東京 1:21.233
  - 6 坂寄 昌弘 茨城 1:21.960

- 男子1kmタイムトライアル ( 5部 )
- 1 古谷 利数 東京 1:20.785
  - 2 安井 光造 滋賀 1:21.093
  - 3 伊藤 茂 広島 1:21.667
  - 4 桐山 美則 京都 1:23.873
  - 5 高井 省三 茨城 1:25.884
  - 6 吉田 昌治 青森 1:29.480

- 男子1kmタイムトライアル ( 6部 )
- 1 飯泉 富男 東京 1:24.141
  - 2 池田 孝男 香川 1:26.150
  - 3 木村 正男 東京 1:29.406

- 男子スプリント ( 1部 )
- 1 市川 英昭 神奈川
  - 2 田神 明彦 千葉

- 3 田中伊久男 奈良
- 4 茂木 高広 埼玉
- 5 田沼 正 神奈川
- 6 土橋 成久 愛知

- 男子スプリント ( 2部 )
- 1 千葉 浩 岩手
  - 2 穴戸 啓 富山
  - 3 清水 周二 岐阜
  - 4 伊藤 彰浩 東京
  - 5 石井 義和 富山
  - 6 表 寿史 石川

- 男子スプリント ( 3部 )
- 1 平田 高英 静岡
  - 2 越猪 澄 愛知
  - 3 吉村 慎二 岐阜
  - 4 遠山 博 岩手
  - 5 外賀 優 京都
  - 6 藤山 功 京都

- 男子スプリント ( 4部 )
- 1 山田富美雄 岐阜
  - 2 羽鳥 浩 神奈川
  - 3 小屋口陽二 三重
  - 4 吉田 正紀 岩手
  - 5 高岸 豊治 三重

- 男子スプリント ( 5部 )
- 1 中村 仁 東京
  - 2 安井 光造 滋賀
  - 3 桐山 美則 京都
  - 4 中野 武道 富山
  - 5 山崎 元昭 富山

- 男子スプリント ( 6部 )
- 1 鈴木 真人 静岡
  - 2 福島 一雄 京都
  - 3 木村 正男 東京
  - 4 白新田 攻 神奈川
  - 5 小山 照夫 長野

- 男子3km個人追抜 ( 1部 )
- 1 沼前 光宏 大阪 3:56.729
  - 2 櫻脇 哲也 徳島 3:59.608
  - 3 齋藤 徹 福島 4:08.065
  - 4 石橋 智之 福島 4:12.509
  - 5 佐藤 剛 三重 4:12.922

- 男子3km個人追抜 ( 2部 )
- 1 早川 健一 福島 4:07.728
  - 2 山下 永 和歌山 4:14.691
  - 3 和波 哲哉 愛知 4:15.415
  - 4 橋 和寿 富山 4:16.149
  - 5 千葉 誠 富山 4:22.212
  - 6 今藤 幸雄 富山 4:24.850

- 男子3km個人追抜 ( 3部 )
- 1 浅倉 基 富山 4:03.523
  - 2 川崎 正志 大阪 4:19.271
  - 3 金子 光廣 愛知 4:20.291
  - 4 八城 敏広 福島 4:21.815
  - 5 長谷 秀樹 石川 4:22.238
  - 6 泉野 俊一 富山 4:24.204

- 男子3km個人追抜 ( 4部 )
- 1 渡辺 正彦 埼玉 4:05.376
  - 2 北村 英樹 滋賀 4:11.216
  - 3 高橋 秀樹 静岡 4:13.175
  - 4 岡 宏 東京 4:13.186
  - 5 小田 英明 静岡 4:15.402
  - 6 佐久間明夫 東京 4:24.223

- 男子3km個人追抜 ( 5部 )
- 1 古谷 利数 東京 4:14.879
  - 2 佐藤 康男 福島 4:30.568
  - 3 伊藤 茂 広島 4:30.645
  - 4 吉田 昌治 青森 4:38.545
  - 5 高井 省三 茨城 4:39.159
  - 6 梅沢 広志 福島 4:42.127

- 男子3km個人追抜 ( 6部 )
- 1 池田 孝男 香川 4:28.955

- 男子ケイリン ( 1部 )
- 1 市川 英昭 神奈川
  - 2 田中伊久男 奈良
  - 3 田沼 正 神奈川
  - 4 轡田 好博 富山
  - 5 茂木 高広 埼玉
  - 6 宮 弘行 岩手

- 男子ケイリン ( 2部 )
- 1 清水 周二 岐阜
  - 2 石井 義和 富山
  - 3 清水 恒介 東京
  - 4 伊藤 彰浩 東京
  - 5 伊藤 利克 香川
  - 6 福井 猛 香川

- 男子ケイリン ( 3部 )
- 1 吉村 慎二 岐阜
  - 2 岡村 隆 東京
  - 3 和田 修 岐阜
  - 4 稲場 勉 愛知
  - 5 外賀 優 京都
  - 6 藤岡 英景 兵庫

- 男子ケイリン ( 4部 )
- 1 若杉 平雄 愛知
  - 2 山田富美雄 岐阜
  - 3 坂寄 昌弘 茨城
  - 4 小屋口陽二 三重
  - 5 六本木宏久 栃木
  - 6 平尾 昭法 埼玉

- 男子ケイリン ( 5部 )
- 1 中村 仁 東京
  - 2 飯泉 富男 東京
  - 3 鈴木 真人 静岡
  - 4 福島 一雄 京都
  - 5 白新田 攻 神奈川

- 男子16kmポイントレース ( 1-3部 )
- 1 櫻脇 哲也 徳島 40 p
  - 2 千葉 浩 岩手 17 p
  - 3 佐藤 剛 三重 13 p
  - 4 岡武 孝浩 岐阜 7 p
  - 5 轡田 好博 富山 6 p
  - 6 橋 和寿 富山 4 p

- 男子16kmポイントレース ( 4-6部 )
- 1 高橋 秀樹 静岡 31 p
  - 2 浅倉 基 富山 30 p
  - 3 川崎 正志 大阪 14 p
  - 4 岡 宏 東京 -17 p
  - 5 金子 光廣 愛知 -18 p
  - 6 佐藤 康男 福島 -19 p

- 男子チームスプリント
- 1 富山A  
石井・穴戸・浅倉 1:15.062
  - 2 福島B  
八城・菅野・齋藤 1:15.256
  - 3 岐阜B  
清水・和田・山田 1:15.559
  - 4 岐阜A  
野村・岡武・吉村 1:16.396
  - 5 滋賀A  
安井・井上・北村 1:17.376
  - 6 巧レシング  
橋本・小出・山下 1:17.881

- 女子500mタイムトライアル
- 1 和地 恵美 東京 39:938
  - 2 三井 由香 兵庫 41:278
  - 3 濱田 真子 東京 41:346
  - 4 平見 真理 香川 44:801
  - 5 島 則子 富山 47:167

- 女子スプリント
- 1 濱田 真子 東京
  - 2 三井 由香 兵庫

- 女子2km個人追抜競走
- 1 和地 恵美 東京 2:59.817
  - 2 平見 真里 香川 3:04.778
  - 3 長谷留美子 石川 3:05.059
  - 4 島 則子 富山 3:09.846
  - 5 中尾 訓子 京都 3:15.541

- 男子1部 35歳以上、40歳未満  
男子2部 40歳以上、45歳未満  
男子3部 45歳以上、50歳未満  
男子4部 50歳以上、55歳未満  
男子5部 55歳以上、60歳未満  
男子6部 60歳以上  
女子 35歳以上



## 2005年MTB世界選手権大会



1991年にイタリアのイルチョッコで開催された世界選手権。それから14年後、再び会場をイタリアに移しての開催だが、今では新種目の4クロスや、トライアルとあわせて開催されることになった。

会場に比較的近いということでスイスの空港から陸路でイタリアへ。国境はいわゆるアルプスであり、急峻な道を登り、峠越えをした所が今回の会場となるリビーニョだ。冬はもちろん夏もにぎわいを見せるリゾート地で町中のショップやレストランも豊富にある。

会場入りして1日おくと早くもクロスカントリーのジュニアが開催された。竹之内悠は、スタートから前半で位置したが、会場が高地でもあり、後半後退してしまったのが残念であり、今後の調整のスケジュールに課題がある。

U23では、小野寺健、山本幸平が参加。国際ランキングの関係で最後尾付近からのスタートと、苦戦したが、それでも毎周期徐々に追い上げていく姿は頼もしかったが、レース終盤から遅れ出した。

しかしながら、このジュニア、U23では十分に競技ができるものであり今後

重点を置きたいと考える。

男女のエリートも後方スタートとなり、少しずつ順位を上げながらもシングルトラックなど追い抜きが厳しいコースで阻まれた。加えて鈴木雷太、辻浦圭一はパンクに見舞われ、それぞれ残念な結果に終わった。

ダウンヒルは昨年ワールドカップが開催されており参加していた選手にはなじみのあるもの。ただし、トレーニングにより変化する路面、またライン取りなどへの対応は国内大会の比ではなく、女子末政の11位が最高位であった。

4クロスは増田、栗瀬が共に予選40位以内でトーナメント進出。少々長めのコースであったが乗ってきていたので期待された。共に健闘およばずであった。特に残念であったのは増田の最終フィニッシュライン手前のチェーントラブルであった。海外の選手では30代



の選手もおり、日本も上位を狙える種目であると考えられる。

最後に、各スタッフ、また現地でサポートにまわっていただいた方々に多大な協力をいただき無事大会に参加できたことを感謝したい。(高橋 博)

## [ 競技結果 ]

2005年MTB世界選手権大会  
(2005/9/1-4 例ア・北・ニョ)

## DHIリト男子 (2.85km)

1	BAREL Fabien	FRA	3:54.77
2	HILL Samuel	AUS	3:55.54
3	MINNAAR Greg	RSA	3:57.79
66	井手川直樹	JPN	4:22.73
69	内嶋 亮	JPN	4:22.82

## DHIリト女子 (2.85km)

1	CHAUSSON Anne Caroline	FRA	4:27.34
2	JONNIER Sabrina	FRA	4:27.71
3	RAGOT Emmeline	FRA	4:31.52
11	末政 実緒	JPN	4:48.05

## DHジニア男子 (2.85km)

1	CAVALIER Amiel	AUS	4:05.79
2	FAIRCLOUGH Brendan	GBR	4:07.15
3	PANOZZO Liam	AUS	4:11.33
35	永田 準也	JPN	4:35.04
49	小山 航	JPN	4:51.32

## XCIリト男子 (4.3km)

1	ABSALON Julien	FRA	2:07:34
2	SAUSER Christoph	SUI	2:07:52
3	HERMIDA RAMOS Jose Antonio	ESP	2:08:28
66	色川 浩樹	JPN	2:30:26
80	鈴木 雷太	JPN	-1lap
85	辻浦 圭一	JPN	-1lap

## XCIリト女子 (30.45km)

1	DAHLE Gunn-Rita	NOR	1:47:19
2	WLOSZCZOWSKA Maja	POL	1:49:28
3	HENZI Petra	SUI	1:50:26
40	片山 梨絵	JPN	2:05:58
48	真下 正美	JPN	2:08:16

## XC U23男子 (4.3km)

1	TROFIMOV Yury	RUS	2:17:30
2	FLUCKIGER Lukas	SUI	2:17:31
3	SCHURTER Nino	SUI	2:19:25
60	山本 幸平	JPN	2:44:29
73	小野寺 健	JPN	2:52:23

## XCジニア男子 (30.15km)

1	GEHBAUER Robert	AUT	1:38:45
2	SARRAZIN Olivier	FRA	1:41:56
3	WIJNANTS Tim	BEL	1:42:00
35	竹之内 悠	JPN	1:53:59

## 4X男子

1	LOPES Brian	USA	
2	GRAVES Jared	AUS	
3	DELDYCKE Mickael	FRA	
38	増田 直樹	JPN	
48	栗瀬 裕太	JPN	

## 第52回全日本プロフェッショナル選手権ロードレース



9月29日、静岡の日本サイクルスポーツセンター5kmサーキット(左廻り)において第52回全日本プロフェッショナル選手権ロードレースが開催された。

午前9時、晴天の中、全国8地区から集まった競輪選手40名がスタートした。

3周目から独走態勢に入った飯島規之はそのまま快走し、結果飯島と同一周回でフィニッシュしたのは14名のみであった。



選手宣誓の大塚英伸



5kmコース左回りのスタート

### [ 競技結果 ]

第52回全日本プロフェッショナル選手権ロードレース  
(2005/9/29 静岡・日本CSC 5kmサーキット)

1	飯島 規之	JPCA埼玉	1:51:38.51
2	佐藤 朋也	JPCA秋田	1:56:45.92
3	舛井 幹雄	JPCA三重	1:56:56.79
4	大久保 聡	JPCA鹿児島	1:57:12.06
5	大屋 健司	JPCA広島	1:58:00.60
6	鷺田 佳史	JPCA福井	1:58:01.83
7	林 次郎	JPCA福岡	1:58:02.02
8	高橋 由記	JPCA群馬	1:58:02.16
9	丸井 宏将	JPCA奈良	1:58:02.32
10	樺澤 康輝	JPCA群馬	1:58:02.89



連勝を続ける飯島規之

## 第36回 全日本実業団自転車競技選手権大会



まだ夏の暑さの残る9月10日より山梨県笛吹市の境川自転車競技場にて「第36回 全日本実業団自転車競技選手権大会」が2日間に渡り開催された。境川競技場の天候は開催期間中、雨を免れることが出来、実業団の男女強豪選手達は境川の400mトラックで多いに日頃の鍛錬を発揮出来たと思う。

まず、1日目は予選レースを中心に開催。男子スプリント200m予選では有力視されている選手が上位を多く締め、夕方からの1/8決勝も湯原正行(サイクルマインド)や河村雅章(パインヒルズ'90)、阿部 功(マリンゴールド)などが順当に勝ち上がり、翌日の展開が楽しみとなる。

そしてエキシビジョンとしておこなった女子ケイリンは出場希望選手が多く、初の「予選レース」を2本おこなった。上位3位を翌日の決勝進出とした

が、なかなか堂にいった走りで行前、7月の全日本実業団東日本トラックで初めて女子ケイリンをおこなった時の一瞬会場がどよめくようなヒヤリとする走行がなくなったのに安心。女子500mTTの有力選手を中心に6名が翌日の決勝に勝ち上がった。

男子ポイントレースは決勝がおこなわれた。このところポイントで力を発揮している現役競輪選手朝倉佳弘(パインヒルズ'90)など、多くのポイントレース上位常連選手が出演。レースでは途中、集団より抜け出した吉井功治(JOA)と向川尚樹(NEX)がペースをグングン上げて逃げ続け、遂にはメイン集団をラップ。ラップポイントを手にした2人は前半ポイントを稼いでいた朝倉の順位をひっくり返し、さらにその後ペースを落とすことなくゴール。海外の遠征経験豊富な吉井が優勝、

2位・向川、3位は最後まで諦めない走りを見せた朝倉となった。

翌日の大会2日目は前日より若干涼しい中、開始された。開会式では地元・笛吹市長や山梨県自転車競技連盟より健闘を祈念するお言葉を頂戴し、昨年の男子ケイリン優勝者に贈られた自転車競技会全国協議会杯をスミタラバネ口の大木卓也より返還された。このカップの行方も本日の楽しみとなる。

さて、レースは男子スプリントの1/4決勝からスタート。若干19歳の鈴木庸之(Soul Bicycle)が健闘、1/2決勝に駒を進めた。続いて男子4km個人追抜では昨日の予選を勝ち抜いた選手達により、まず3・4位決定戦がおこなわれる。昨日のポイントで優勝したJOAの吉井が勝ち3位に決定。次の決勝ではチェブ口のNEIL・MILLARと明珍多久雄という「チームメイト対決」となった。結果はロードレースでも好成績を残すNEILに軍配が上がった。

この後、スリリングな展開が見所のエリミネーションレース等の個人競技のほか、団体競技のチームスプリントや4km団体追抜もおこなわれた。女子レースでは500mで優勝した川満佳子(岩井商会)が女子ケイリン決勝でも優勝を手にした。

男子のレースに戻り、スプリント決勝は東日本トラックで優勝した湯原がまさかの敗退、この後の3・4位決定戦では勝ったが、結果は3位に留まった。決勝では22歳河村と19歳鈴木という「若手対決」となり盛り上がる。結果は展開のうまさで一枚上手だった河村が優勝。ただ、鈴木の鋭い走りに今後期待出来ると思う。

最後を飾る男子ケイリンでは、昨年に引き続き大木が並み居る強豪を振り切って優勝。我が手に再びカップを取り戻した。表彰式では何度も入賞者とともに記念撮影をしたりと、賑やかに幕を閉じた。

実業に奮闘しながら自転車レースを愛し、切磋琢磨する選手達の健闘はこれからも続いていく。

(実業団事務局・須藤むつみ)



## [ 競技結果 ]

第36回全日本実業団自転車競技選手権大会  
(2005/9/10-11 山梨・境川)

## 男子1kmタイムトライアル

1	三谷 政史	ストラダレーシング	1:09.133
2	鈴木 庸之	Soul Bicycle 弥彦	1:09.493
3	黒木 裕介	トコ三州観光沖縄	1:09.526
4	深沢 伸介	マッパ・D-フィアRIAKE	1:10.108
5	駒井 大輔	TSP	1:10.114
6	酒井 洋太	トコ三州観光沖縄	1:10.155

## 男子スプリント

1	河村 雅章	LUBRIFEELパ'イビルズ'90
2	鈴木 庸之	Soul Bicycle 弥彦
3	湯原 正行	チームイカイト
4	阿部 功	マリッゴ・ルド' T.サイクルW
5	西尾 孝政	デューロ
6	白倉 紀彦	Soul Bicycle 弥彦

## 男子ケイリン

1	大木 卓也	スミタパ'和パ'ルイズ'ミ
2	西尾 孝政	デューロ
3	駒井 大輔	TSP
4	河村 雅章	LUBRIFEELパ'イビルズ'90
5	平石 功	パ'ルイズTBC

6 近藤 寛央 LUBRIFEELパ'イビルズ'90

## 男子4km個人追抜競走

1	NEIL MILLAR	チーム・チェンピ	4:56.353
2	明珍多久雄	チーム・チェンピ	5:07.729
3	吉井 功治	JOA-FORZA	5:09.494
4	山田 哲治	マリッゴ・ルド' T.T	5:09.543
5	木村 圭吾	パ'イビルズ'90	5:12.022
6	三木 哲也	JOA-FORZA	5:12.206

## 男子エリミネーション

1	高橋 仁	チーム・チェンピ
2	山口 忠行	Z-1MEDALIST.RC
3	和田 治恭	天狗党
4	佐野 伸弥	チームハイクニカレ・シング
5	仲松太一郎	けんしん
6	水尾 和孝	ミヤタパ'ルレーシング チーム

## 男子ホ'インレース (30km)

1	吉井 功治	JOA-FORZAレーシング	62p
2	向川 尚樹	NEX-COLNAGO	50p
3	朝倉 佳弘	パ'イビルズ'90	29p
4	森 真博	NEX-COLNAGO	21p
5	山田 哲治	マリッゴ・ルド' T.サイクルW	15p
6	明珍多久雄	チーム・チェンピ	10p

## 男子チームスプリント

1	パ'イビルズ'90	沢口・朝倉・木村	1:20.573
2	Soul Bicycle	白倉・武田・鈴木	1:20.782
3	チーム・チェンピ	高橋・明珍・NEIL	1:24.696

## 男子4km団体追抜競走

1	JOA-FORZA	吉井・三木・浦門・柳沢	4:48.580
2	トコ三州観光	黒木・酒井・小林・川畑	4:51.487
3	ミヤタパ'ル	高野・水尾・津末	4:57.172
4	チームハイクニカ	郡山・佐野・平林	5:09.692

## 女子500mタイムトライアル

1	川満 佳子	岩井商会レーシング	38.857
2	三宅 悠里	天狗党	40.486
3	和地 恵美	たかだフルドレーシング	40.539
4	三井 由香	ペ'ロズパ'ルズギ'ノ	40.743
5	大塚 沙織	キャットアイレーシング	41.061
6	戸田 尚由	フィッシュヘッド RT	41.173

## 女子3km個人追抜競走

1	大塚 沙織	キャットアイレーシング	4:16.251
2	村中恵美子		4:18.017
3	小谷 翠	NCFR	4:30.240
4	和地 恵美	たかだフルド	4:30.270
5	中山 朋子		4:34.389
6	越田恵美子	PEACE SPORT	4:39.424

## 2005年第1回アジアインドアゲームバンコク大会サイクルサッカー日本代表選手団

大会名 2005年第1回アジアインドアゲーム

開催場所 タイ・バンコク

大会期間 2005年11月17日 派遣期間 2005年11月16日～11月18日

派遣選手団 選手 サイクルサッカー 轡田 哲郎(神奈川)・橋本 太郎(東京)

## 2005年世界室内自転車競技選手権大会日本代表選手団

大会名 2005年世界室内自転車競技選手権大会

開催場所 ドイツ・フライブルク

大会期間 2005年11月25日～27日 派遣期間 2005年11月19日～30日

派遣選手団 監督 植本 昌之 コーチ 濱田美穂子

選手 サイクルサッカー 都築 勝巳(東京)・松田 鋼(千葉)・森 茂史(神奈川)・黒田 岳(神奈川)  
サイクルフイグ'ユア 佐浦 裕行(東京)・芦田 史郎(千葉)・堀井 和美(滋賀)

## 末永くお付き合いいただくために。



シマノ製品をご愛用いただきまして

ありがとうございます。

シマノではユーザーの皆様へ、当社製品と

末永くお付き合いいただけるよう、

各種補修用パーツをご用意しております。

- 製品についている取扱い説明書をご使用前に必ずお読みください。
- 機能保証のために分解できないパーツもあります。
- お近くの自転車店でご相談下さい。別途送料がかかる場合があります。
- 在庫状況により、品切れの場合もあります。予めご了承下さい。

# SHIMANO

www.shimano.com

XBC001-A

## 第9回全日本実業団クリテリウムinいわき



他の全員をラップしてしまった西谷、山本、柿沼(左から)

9月23・24日、福島県のいわき21世紀の森公園で、第9回全日本実業団クリテリウムinいわきが開催された。

初日は首都高速の事故閉鎖の影響で、スタートを遅らせる処置がとられたが、その後無事にBR-3の予選から開始された。

雨が降りしきる中、2日目は一般レースも開催されたが、14時55分最終レースのBR-1決勝がスタートした。

1.43kmを35周(最終回のみ1.23km)するBR-1だが、9周目に西谷(愛三)、柿沼(ミヤタ)、山本(シマノ)の3人の逃げが成立。そのまま逃げが続き、38名の集団が最終回に入る寸前、先頭3名は1.23kmのショートコースへ突入した。その結果、1位西谷、2位柿沼、3位山本でフィニッシュ。38名の集団は追い抜かれアウトとなった。

第9回全日本実業団クリテリウムinいわき  
(9/23-24 福島・いわき21世紀の森公園)

BR-1 (50.0 km)

- |   |       |          |         |
|---|-------|----------|---------|
| 1 | 西谷 泰治 | 愛知 愛三工業  | 1:19:34 |
| 2 | 柿沼 章  | 栃木 ミヤタ   | 1:19:36 |
| 3 | 山本 雅道 | JPCA シマノ | 1:19:36 |

BR-2 (42.9 km)

- |    |       |               |         |
|----|-------|---------------|---------|
| 1  | 村上 純平 | 山形 鹿屋体大       | 1:10:58 |
| 2  | 森 正慶  | 東京 T-SERV.    | 1:11:25 |
| 3  | 山崎 潤  | 神奈川 デュロ       | 1:11:26 |
| 4  | 山添 悟志 | 神奈川 チームキップ    | 1:11:26 |
| 5  | 小口 英之 | 栃木 ヲノ         | 1:11:26 |
| 6  | 武田 秀明 | 大阪 日本アイト      | 1:11:26 |
| 7  | 相川 将  | 埼玉 BSエス       | 1:11:27 |
| 8  | 福田 崇哉 | 東京 なるしまF.     | 1:11:27 |
| 9  | 杉谷 聡  | 東京 Vitesse-イカ | 1:11:27 |
| 10 | 高野 真一 | 山梨 チーム・マリアーザ  | 1:11:28 |

BR-3 (35.8 km)

- |    |             |              |         |
|----|-------------|--------------|---------|
| 1  | 増田 威望       | 千葉 L.ottimo  | 0:59:29 |
| 2  | 奈良 基        | 宮城 ヘルキップ     | 0:59:59 |
| 3  | 高橋 仁        | JPCA チーム・デュロ | 1:00:00 |
| 4  | Neil Millar | 千葉 チーム・デュロ   | 1:00:00 |
| 5  | 齋藤 道明       | 福島 Teamイェット  | 1:00:00 |
| 6  | 平松 寿毅       | 千葉 SERENO    | 1:00:00 |
| 7  | 青木 誠        | 東京 SERENO    | 1:00:01 |
| 8  | 大山ミノル       | 愛知 Teamイェット  | 1:00:01 |
| 9  | 横須賀達雄       | 神奈川 JMSbyAMB | 1:00:01 |
| 10 | 加藤 孝啓       | 岐阜 BREZZART  | 1:00:01 |

女子 (6.15 km)

- |   |       |            |       |
|---|-------|------------|-------|
| 1 | 戸井麻里子 | 埼玉 なるしまF.  | 11:19 |
| 2 | 高橋 美保 | 千葉 チーム・デュロ | 12:00 |



3人のゴールスプリントを制した西谷

## UCI環太平洋BMX選手権



2005UCI環太平洋BMX選手権大会が、9月23～24日の両日に亘り、茨城県ひたちなか市、国営ひたちなか海浜公園内の全日本BMX連盟公認BMXトラックにおいて開催された。

BMXはアメリカの西海岸で誕生したもので、ヨーロッパのサイクルスポーツ100年以上の歴史の中、アメリカンスポーツとしての新しい魅力を付け加え、また健康管理に効果的なものであることが評価されている。

大会会場となったひたちなか海浜公園内公認トラックは、385mのコース長を誇る世界選手権レベルのコースで、最新型のアスファルトバームで結ばれ、圧倒的なアベレージスピードの高さが得られるなど、高度なテクニックと体力が要求されるコースでもある。

今大会は、エリートに世界選手権3位のロバート・ディ・ウィルディ、Boys14-16に世界選手権1位のジョイ・ブラッドフォード、同4位の三瓶将廣など世界のトップクラスをはじめ、約150余名にものぼる選手が集結した。

初日は天候にも恵まれ、特設スタンドには家族連れやBMXファンが大勢詰



め掛け、声をかからして声援を送っていた。レースは午前中の予選ラウンドを通過した12クラスの選手により、午後、決勝が行われた。Girls8-11歳クラスは世界選手権7位の藤井和

音、Boys8-9歳クラスは世界選手権6位の榊原魁、また、Boys14-16歳クラスは、世界チャンピオンのジョイ・ブラッドフォード、エリート男子は世界選手権3位のロバート・ディ・ウィルディがそれぞれ優勝した。

2日目は朝から台風の影響による雨模様となり、走路の土の箇所であるスタート直後のステップアップをはじめ、トリプル、連続ジャンプ、リズムセクションにおいて落車などトラブルが相次いだ。そうした中、Girls8-11歳クラスは世界選手権2位の並木朱梨、Girls12歳オーバークラスで世界選手権2位の渡辺楓、Boys8-9歳クラスは世界選手権6位の榊原魁、Boys14-16歳クラスは世界選手権4位

の三瓶将廣、エリート男子は元世界チャンピオンのジョン・パースがそれぞれ優勝を飾った。

大会を振り返り、世界のトップクラスの選手

から7歳以下の選手まで勝ちを狙うことはもちろん、落車、転倒をしても最後までゴールを目指す姿勢と、それに対し励ましの声援を送った家族、ファンのエールの素晴らしさに感動を覚えた。

2008年の北京オリンピックでは、BMXが正式種目となり益々の選手強化が必要になると思う。選手とトラックコースの必要性はもちろんであるが、すそ野を広げるためには、全国的な指導者の養成も重要課題のひとつではないかと感じた。



### [ 競技結果 ]

UCI環太平洋BMX選手権  
(2005/9/23-24 茨城・ひたち海浜公園)

#### Elite Men 19 & over (9/23)

- |   |                   |     |
|---|-------------------|-----|
| 1 | Robert de Wilde   | NED |
| 2 | Jason Richardson  | USA |
| 3 | John Purse        | USA |
| 4 | Nathan Berkheimer | USA |
| 5 | Cristian Becerine | ARG |
| 6 | Greg Romero       | USA |
| 7 | Tyler Brown       | USA |
| 8 | 阪本 章文             | 関西  |

#### Junior Men 17&18 (9/23)

- |   |             |     |
|---|-------------|-----|
| 1 | James Dixon | AUS |
| 2 | Todd Pascoe | AUS |
| 3 | Steven Wong | HKG |
| 4 | 飯端 英洋       | 関西  |

#### Elite Men & Junior Men (9/24)

- |   |                 |     |
|---|-----------------|-----|
| 1 | John Purse      | USA |
| 2 | Robert de Wilde | NED |
| 3 | 塚原 睦人           | 東海  |
| 4 | James Dixon     | AUS |
| 5 | 山崎 洋平           | 関西  |
| 6 | 荒金 知史           | 関西  |
| 7 | 栗瀬 裕太           | 関西  |
| 8 | Tyler Brown     | USA |

## 第31回ジロ・デ・ルニジアナ



### 9月1日 第1ステージ

今回の遠征は、インターハイ及びツール・ド・とうほくの優勝者と各大会上位の2年生を対象に、来年度の強化選手を育成するため、海外遠征を経験させて次年度に活かすのが目的である。このステージレースは、来年度のジュニア世界選手権に出場予定の各国のジュニアナショナルチームが多く出場するので、注目度の高いジュニア最高峰のステージレースである。

第1ステージはLA SPEZZAからARCOLAまでの116kmで、27チーム159名が出走する。

スタートしてすぐに各チームパンクが発生してあわただしくなる。

10km地点で寺垣が、対向車線に停車していた白いトラックを避けるために集団が右側に寄ったときに、詰まって落車してしまった。機材にはトラブルがなく集団に復帰するが、30km地点で2度目の落車をする。右側の路側帯にあるコンクリート製の防護壁にぶつかってしまい、リタイヤしてしまう。

レースは5名の先頭集団を形成し、集団に対して50秒前後リードしていく。44km地点で我妻が落車する。チームカーの到着前に共通機材車の助けで集団を追うが、20kmほど追いかけて後方にできた集団に追いつく。橋本も下りコーナーで落車して遅れてしまい、2名は14人程の集団でゴールを目指す。

レース後半、先頭集団は17名になり19秒のリードを保ちながらゴールする。イタリア、ベルギー、デンマーク勢が上位を占め、日本勢は鶴川116位、伊藤122位、伊丹126位、我妻154位、橋本

155位、寺垣DNFとなった。

### 9月2日 第2ステージ

レースは106.1kmの距離で、序盤からポーランド、デンマークが積極的に動き、8名の逃げが集団に40～50秒前後のリードを保ちながら進んでいく。

先頭集団は小刻みに人数が変化しながら、この日の最難関である登りにさしかかると、橋本、我妻が集団から離れてしまい、頂上手前の下りで鶴川が離れてしまう。メイン集団には伊丹と伊藤が残っていたが、下りにはいるとタイトコーナーが連続して伊藤が落車して遅れてしまう。伊藤は小集団を形成してゴールを目指す。メインから3分48秒と大きく遅れてしまった。

先頭集団はポーランド選手が区間優勝を果たし、伊丹は62位でゴール。伊藤77位、鶴川115位、我妻132位、橋本153位と全員が遅れながらも完走する。

### 9月3日 第3ステージ

第3ステージは、FOSDINOVO周辺道路を使用した110kmのレースで、海岸線から5kmほど上った地点がゴールである。

パレード走行中に伊藤の前輪がパンクするが、すぐに交換してパレードに復帰する。レースはスタートから数名の逃げがあり、人数が少しずつ増えながら逃げが続く。レース後半の登りで橋本が集団から離れてしまうが、6人の集団でゴールを目指す。

レースは最後の登りにさしかかり、KVIST(デンマーク)と81番がアタックをかけそのままゴールまで逃げ切った。総合成績でもKVISTが首位を固めた。日本チームは伊藤35位、伊丹38位

で、続いて鶴川68位、我妻113位、橋本146位の順でゴールした。

### 9月4日 第4ステージ

周回コースを3周回り、海岸線を回って大周回を一周してゴール地点に戻るコース。スタートからハイペースで進行し、1周目の登りで我妻、橋本の順で集団から離れてしまい、その後リタイアとなる。残る3名は集団の中にいたが、3周目の登りで集団が大きく2つに分かれてしまい、後方集団に取り残されてしまう。さらに伊藤が落車してしまい大きく遅れる。下りでチームカーが追いつくが第2集団には追いつけず、4名ほどのグループでゴールを目指す。

鶴川も下りで離れてしまい海岸線で必死に追い上げ、何とか第2集団で完走する。先頭のメイン集団はTOSCANAの選手が区間優勝したが、総合成績はKVISTが首位を守りきり優勝した。

日本選手について感じた点は、集団走行になれていないので先頭付近をキープできない点と、下りの走行技術が未熟で、登りでは大差なくても下りで引き離されてしまい、下りの経験不足が大きな差であると感じた。今回の2年生主体のチームが得た経験は、来年度へ大きく活かされると思われるので、今後の成長した走りを期待したい。

(大野 直志)

### [ 競技結果 ]

第31回ジロ・デ・ルニジアナ (UCI 2 HC.MJ)  
(2005/9/1-4 伊丹・フレツェ)

#### 第1ステージ (106.6km)

1	GADICI Marco	ITA	2:19:43
2	VANSPEYBROUCK Pieter	BEL	2:19:43
3	STEENSEN Andre	DEN	2:19:43
117	鶴川 大輝	JPN	2:21:07
122	伊藤 雅和	JPN	2:21:07
126	伊丹 健治	JPN	2:21:07
154	我妻 敏	JPN	2:33:09
155	橋本 龍弘	JPN	2:33:09
	寺垣慎太郎	JPN	DNF

#### 第2ステージ (106.1km)

1	MARYCZ Jaroslaw	POL	2:34:00
2	VINTHER Troels	DEN	2:34:06
3	CIAVATTA Matteo	ITA	2:34:13
62	伊丹 健治	JPN	2:35:45
77	伊藤 雅和	JPN	2:37:48
115	鶴川 大輝	JPN	2:41:26
132	我妻 敏	JPN	2:44:19
153	橋本 龍弘	JPN	2:51:57

#### 第3ステージ (110.1km)

1	KVIST Thomas Vedel	DEN	2:42:05
---	--------------------	-----	---------

2	KONIG Leopold	CZE	2:42:12
3	DOCKX Gert	BEL	2:42:17
35	伊藤 雅和	JPN	2:44:04
38	伊丹 健治	JPN	2:44:07
68	鷗川 大輝	JPN	2:45:19
113	我妻 敏	JPN	2:47:59
146	橋本 龍弘	JPN	2:57:22

## 第4ステージ (115.1km)

1	MAGAZZINI Enrico	ITA	2:45:29
2	BETTI Emiliano	ITA	2:45:29
3	TASSINARI Gabriele	ITA	2:45:31
75	鷗川 大輝	JPN	2:48:48
86	伊丹 健治	JPN	2:48:48
111	伊藤 雅和	JPN	2:50:34
	我妻 敏	JPN	DNF
	橋本 龍弘	JPN	DNF

## 個人総合成績

1	KVIST Thomas Vedel	DEN	10:22:05
2	MARYCZ Jaroslaw	POL	10:22:23
3	CIAVATTA Matteo	ITA	10:22:27
58	伊丹 健治	JPN	10:29:47
80	伊藤 雅和	JPN	10:33:33
90	鷗川 大輝	JPN	10:36:40

## 団体総合成績

1	TOSCANA (ITA)	31:08:50
2	DEN	31:09:18
3	GER	31:11:50
22	日本	31:40:00

## &lt;出場選手&gt;

我妻 敏 (福島・学法石川高校)  
 伊藤 雅和 (神奈川・法政二高校)  
 寺垣慎太郎 (富山・氷見高校)  
 鷗川 大輝 (香川・高松工芸高校)  
 伊丹 健治 (群馬・前橋育英高校)  
 橋本 龍弘 (福島・学法石川高校)

## 競技大会結果

大会名、チーム名等については略して記載

JCF MTBジパロントリクス J 1 DH#5/XC#6  
(2005/9/10-11 青森・大鰐)

## DH Elite Men (3.2km)

1	内嶋 亮	東京 G Cross	3:53.120
2	丸山由紀夫	愛知 Mom&Pop	3:53.133
3	井手川直樹	埼玉 G Cross	3:53.228
4	高橋 唯之	福島 F.R.S	3:56.901
5	竹本 将史	埼玉 プリザースト	3:57.891
6	永田 準也	神奈川 AYEL KAMI3	5:58.060
7	安達 靖	愛知 Ikuzawa	3:58.833
8	及川 功申	神奈川 GIANT J.	4:00.468
9	青柳修一郎	東京 SPECIALI.	4:01.500
10	柴田 幸治	神奈川 A&F SANT.	4:02.751

## DH Elite Women (3.2km)

1	福本 弘佳	兵庫 輪廻ドット	4:50.203
2	飯塚 朋子	大阪 ROLL-OUT	4:51.936
3	池田 恭子	東京 MAXXIS	4:53.050
4	服部 良子	神奈川 風魔横浜	5:17.919
5	安達 勅実	埼玉	5:19.863
6	田崎 綾	千葉	5:37.336

## XC Elite Men (45.6km)

1	色川 浩樹	茨城 SPECIAL.	1:59:58.24
2	小笠原崇裕	長野 SUBARU	2:00:35.15

3	野口 忍	京都 TREK	2:03:15.31
4	山本 幸平	新潟 アウトドア専	2:04:17.35
5	山口 孝徳	長野	2:06:25.03
6	白石 真悟	大阪 沢ノリキョウ	2:07:30.68
7	松本 駿	長野 TREK	2:08:00.37
8	後藤 清作	長野 GIANT J.	2:09:50.69
9	門田 基志	愛媛 SPECIAL.	2:11:29.41
10	神谷 知明	東京 GIANT/	2:12:29.74

## XC Elite Women (28.5km)

1	片山 梨絵	神奈川 TREK	1:33:00.67
2	深井 薫	大阪 GaryFish.	1:39:56.59
3	矢沢みつみ	山梨	1:40:15.54
4	田崎 綾	千葉	1:52:56.06
5	桜本恵津子	宮城 GT・奥州	1:53:05.06
6	山本 萌	北海道 尚志学園	1:57:24.48
7	大塚 香	北海道 キャノン-ル/C.	-1lap
8	出町 有希	岩手 I.U.C.C	-2laps
9	小川まゆみ	香川 Team クラズ	-2laps
10	遠藤恵理子	秋田 WTS-どうで	-3laps

2005UCIワールドカップ世界選手権大会  
(2005/9/12-17 件リス・マシスタ)

## 男子750mタイムトライアル (40~44歳)

3	矢野 賢児	JPN	52.448
---	-------	-----	--------

## 男子スプリント (40~44歳)

1	丸山 繁一	JPN	
3	矢野 賢児	JPN	

## 男子3km個人追抜競走 (40~44歳)

4	矢野 賢児	JPN	3:43.854
16	丸山 繁一	JPN	3:56.243

JCF MTBジパロントリクス DH#6/XC#7  
(2005/9/17-18 青森・大鰐)

## DH Elite Men (1.7km)

1	井手川直樹	埼玉 G Cross	1:45.233
2	安達 靖	愛知 Ikuzawa	1:46.409
3	丸山 弘起	長野 マシタ	1:47.942
4	丸山由紀夫	愛知 MOM&POP	1:48.747
5	小山 航	新潟 国際アウトドア	1:49.013
6	青木 卓也	東京 TECH IN	1:50.502
7	柴田 幸治	神奈川 A&F SANT.	1:51.194
8	塚本 岳	長野 MX/MONG	1:51.398
9	向原 健司	大阪 KUWAHARA1	1:51.607
10	及川 功申	神奈川 GIANT J.	1:52.896

## DH Elite Women (1.7km)

1	未政 実緒	兵庫 切ガミ-	2:08.792
2	猪俣 浩子	神奈川 KOOWHO	2:17.514
3	飯塚 朋子	大阪 ROLL-OUT	2:22.821
4	福本 弘佳	兵庫 輪廻ドット	2:26.367
5	池田 恭子	東京 MAXXIS	2:32.835
6	服部 良子	神奈川 風魔横浜	2:49.014
7	田崎 綾	千葉	3:18.115
8	安達 勅実	埼玉	3:26.736
9	菅原 亮香	岩手 Lavender	3:33.013

## XC Elite Men (33km)

1	野口 忍	京都 TREK	2:09:10.86
2	色川 浩樹	茨城 SPECIAL.	2:11:18.79
3	辻浦 圭一	長野 BRIDGE	2:12:33.27
4	門田 基志	愛媛 SPECIAL.	2:18:08.80
5	山本 幸平	新潟 アウトドア専	2:18:12.92
6	小笠原崇裕	長野 SUBARU	2:19:45.30
7	江下健太郎	愛知 福岡E-7	2:20:15.46
8	山本 和弘	長野 マシタ	2:20:23.61

9	笹部 勝	大阪 マシタ	2:20:42.49
10	後藤 清作	長野 GIANT J.	2:26:17.29

## XC Elite Women (27.5km)

1	片山 梨絵	神奈川 TREK	2:17:29.22
2	田崎 綾	千葉	2:28:48.42
3	深井 薫	大阪 GaryFish	2:29:43.19
4	齋藤 磨実	神奈川 Team MASA	-1lap
5	山本 萌	北海道 尚志学園	-1lap
6	岐部 容子	福岡 MASAYA	-2laps
7	桜本恵津子	宮城 GT・奥州	-2laps
8	大塚 香	北海道 キャノン-ル/C.	-3laps

第41回東日本学生自転車競技新人戦  
(2005/9/23 埼玉・西武園競輪場)

## 男子スプリント

1	中村 健志	熊本 日本大学	
2	高橋 潤	岩手 東北学院大学	
3	白鳥 佑	東京 法政大学	
4	岡本 光由	熊本 早稲田大学	
5	三浦 雄大	宮城 東北学院大学	
6	山田 裕哉	岐阜 東北学院大学	

## 男子1kmタイムトライアル

1	西村 光太	三重 早稲田大学	1:07.71
2	佐藤 博紀	岩手 日本大学	1:08.35
3	城 幸弘	山梨 日本大学	1:08.55
4	湯浅 大輔	千葉 法政大学	1:10.30
5	内田 晃弘	静岡 順天堂大学	1:10.91
6	飯島 悠	静岡 東海大学	1:11.74

## 男子ケリッ

1	東矢 昇太	熊本 中央大学	
2	仲村 天晴	秋田 明治大学	
3	辻中 国宏	京都 日本大学	
4	阿部 将兵	大分 日本大学	
5	高橋 韻旨	岐阜 法政大学	
6	林 一貴	岩手 富士大学	

## 男子4km個人追抜競走

1	川西 貴之	岐阜 日本大学	4:58.24
2	根本 哲吏	秋田 明治大学	5:00.22
3	山本 貴洋	福井 日本大学	5:03.27
4	武田 正幸	新潟 北見大学	5:10.83
5	寺田 紘也	群馬 法政大学	5:18.45
6	松本 和也	和歌山 東北学院大	5:20.95

## 男子ホィトルス (30km)

1	守澤 太志	秋田 明治大学	58p
2	白川 巧	大分 日本大学	38p
3	小野寺政人	青森 法政大学	35p
4	小豆畑都也	福島 日本大学	31p
5	島田 真琴	東京 法政大学	28p
6	大庭 伸也	宮城 日本大学	27p

## 女子500mタイムトライアル

1	岡 希美	群馬 法政大学	38:54
2	栗原 瞳	埼玉 順天堂大学	39:97
3	花山 千宏	宮城 日本体育大学	40:84
4	富坂 明代	東京 立教大学	44:82

## 女子スプリント

1	佃 咲江	北海道 北海学園北見大学	
2	牛島 愛	熊本 日本体育大学	

## 女子3km個人追抜競走

1	石井 寛子	埼玉 明治大学	4:19.36
2	石垣 夢佳	東京 日本体育大	4:19.92
3	高倉 実希	岩手 早稲田大学	4:19.60
4	永田 萌子	大分 明治大学	4:23.64

シクロクロス 2005-2006 レースカレンダー(予定)

シクロクロス小委員会(2005/10/4現在)

月	日	曜	北海道SP	長野CCM	シクロin富山	関西シクロ	シクロin広島	シクロin九州	
9	11	日	#2 長 沼						
10	2	日	#3 長 沼						
	16	日	#4 長 沼						
	23	日			#1 砺 波				
	30	日	#5 長 沼						
11	6	日			#2 黒 部				
	13	日	#6 江 別	#1 松 本		#1 日吉町府民の森			
	20	日		#2 富士見高原			#1 吉和村		
	23	水		#3 八ヶ岳清里	#3 常願寺				
	27	日				#2 野洲川	#2 仁 多		
12	4	日		#4 上山田	#4(未定)	#3 野洲'カマフラ'	#3 八千代		
	11	日	#4 堺 <b>(第11回全日本選手権)</b>						
	18	日		#5 安曇野		#5 三段池公園			
	24	土				#6 北神戸			
	25	日		#6 静 岡			#4 庄 原		
06.1	8	日		#7 山 梨		#7 希望が丘		#1 北九州	
	15	日							
	22	日				#8 桂 川	#5 尾 道		
	29	日					#6 吉和魅惑の里		
2	5	日						#2 海の中道	

印:セレクションシリーズ

インフォメーション コーナー

長崎県車連事務局住所の変更

新事務局 〒852-8021 長崎県長崎市目覚 11-6 新浦上ビル 1F

スポーツサイクルショップ PASTA 内 TEL: 095-813-1175 FAX: 095-813-1176

2005 東京国際自転車展 www.cyclepress.co.jp

主 催: 株式会社インタープレス

会 場: 有明・東京ビッグサイト西1・2ホール及び屋外展示場

日 程: 11月3日(木・祝)~5日(土)

サイクルモードインターナショナル 2005 www.cyclemode.net

主 催: サイクルモード実行委員会(テレビ東京・テレビ大阪)

東京会場: 千葉・幕張メッセ 11月12日(土)・13日(日)

大阪会場: 大阪・インテックス大阪 11月19日(土)・20日(日)

事務局人事

2005年10月11日付

事務局長 新任

手塚 哲弑

(てづか せいいち)

連盟の動き (9月中旬~10月初旬)

9月22日 ACC 理事会

23日 UCI 総会

25日 第6回トラック強化合宿(~10月1日)

28日 第1回国際推進部会・第4回理事会

30日 ジャパンカップ第3回推進委員会・第2回実行委員会

於: スペイン・マドリード

於: スペイン・マドリード

於: 福島・泉崎

於: 東京・自転車会館会議室

於: 栃木・宇都宮



シクリスムエコー No.123 2005年10月号

発行/財団法人日本自転車競技連盟

発行人/岩 楯 昭 一

編集人/加 藤 昭

編集事務局/財団法人日本自転車競技連盟 事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-15 日本自転車会館内

TEL 03-3582-3713 FAX 03-5561-0508

URL http://www.jcf.or.jp/

JCF協賛スポンサー



森永製菓株式会社健康事業部



株式会社サテライトジャパン

